

参考3 補償と福祉事業の関係

(1) 傷病補償年金関係

適用年月日	昭和52.4.1	昭和56.4.1	昭和56.5.1	昭和56.11.1	平成6.4.1
補償	1 G W×313日分 277 245	昭和56.4.1 W×313日分 277 245	昭和56.5.1 W×313日分 277 245	昭和56.11.1 W×313日分 277 245	平成6.4.1 W×313日分 277 245
福祉事業	支1G 給2G 金3G	114万円 107 100	114万円 107 100	114万円 107 100	114万円 107 100
福祉事業	給付金	上限額 $\left(\begin{array}{l} N \times \frac{20}{100} \\ 100万円 \times \frac{\text{日数}}{365} \\ \text{ただし、} \\ W \times 365 \times \frac{80}{100} - N \\ \text{に満たない場合は} \\ \text{その額} \end{array} \right)$	上限額 $\left(\begin{array}{l} N \times \frac{20}{100} \\ 100万円 \times \frac{\text{日数}}{365} \\ \text{ただし、} \\ W \times 365 \times \frac{80}{100} - N \\ \text{に満たない場合は} \\ \text{その額} \end{array} \right)$	上限額 $\left(\begin{array}{l} N \times \frac{20}{100} \\ 100万円 \times \frac{\text{日数}}{365} \\ \text{ただし、} \\ W \times 365 \times \frac{80}{100} - N \\ \text{に満たない場合は} \\ \text{その額} \end{array} \right)$	上限額 $\left(\begin{array}{l} N \times \frac{20}{100} \\ 100万円 \times \frac{\text{日数}}{365} \\ \text{ただし、} \\ W \times 365 \times \frac{80}{100} - N \\ \text{に満たない場合は} \\ \text{その額} \end{array} \right)$
備考	補償 [特殊公務災害加算]	補償 [特殊公務災害加算]	補償 [特殊公務災害加算]	補償及び給付金については、 [特殊公務災害加算]	補償及び給付金については、 [特殊公務災害加算] [国際緊急援助活動] [特例災害加算]

(注) 1 G=等級、N=補償額、W=平均給与額(以下同じ。)

2 昭和56.2.1以後は、年金額の端数について50円以上切り上げ、50円未満の切り捨て処理を行います(以下、年金たる補償及び年金たる特別給付金について同じ。)

3 平成8.8.1以後は、各支給期月に係る支給額に1円未満の端数があるときはこれを切り捨て、切り捨てた端数を2月の支給期に加算します(加算後1円未満の端数があるときはこれを切り捨てます。以下、年金たる補償及び年金たる特別給付金について同じ。)

(2) 障害補償（年金・一時金）関係

適用 等級	昭和42.4.1～		平成11.4.1～		平成12.4.1～		平成17.4.1～		平成28.4.1	
	補償	福祉事業	補償	福祉事業	補償	福祉事業	補償	福祉事業	補償	福祉事業
1G	W× 313日分	342万円 (公)1,150 (通)745	W× 313日分	342万円 (公)1,460 (通)910	W× 313日分	342万円 (公)1,540 (通)975	W× 313日分	342万円 (公)1,540 (通)975	W× 313日分	342万円 (公)1,540 (通)915
2G	277	320 1,115 720	277	320 1,405 865	277	320 1,500 940	277	320 1,500 885	277	320 1,500 885
3G	245	300 1,080 700	245	300 1,355 820	245	300 1,460 905	245	300 1,460 855	245	300 1,460 855
4G	213	264 645 410	213	264 825 510	213	264 875 550	213	264 875 520	213	264 875 520
5G	184	225 550 355	184	225 700 435	184	225 745 470	184	225 745 445	184	225 745 445
6G	156	192 455 295	156	192 575 360	156	192 615 390	156	192 615 375	192	192 615 375
7G	131	159 360 240	131	159 450 285	131	159 485 310	131	159 485 300	159	159 485 300
8G	503	65 205 135	503	65 295 185	503	65 320 195	503	65 320 190	503	65 320 190
9G	391	50 165 105	391	50 230 145	391	50 250 155	391	50 250 155	391	50 250 155
10G	302	39 130 85	302	39 180 110	302	39 195 120	302	39 195 125	302	39 195 125
11G	223	29 100 65	223	29 135 85	223	29 145 90	223	29 145 95	223	29 145 95
12G	156	20 70 50	156	20 95 60	156	20 105 65	156	20 105 75	156	20 105 75
13G	101	14 50 35	101	14 65 40	101	14 75 45	101	14 75 55	101	14 75 55
14G	56	8 35 25	56	8 40 25	56	8 45 30	56	8 45 40	56	8 45 40
給付金	S52.4.1～	$N \times \frac{20}{100}$ (上限額) 150万円× 日数 365	1～7G：年金 8～14G：一時金							

(3) 遺族補償（年金・一時金）関係

適用年月日		昭和 42. 12. 1	平成 11. 4. 1～	平成 12. 4. 1～	平成 18. 4. 1～	平成 28. 4. 1～	
補償	年金	1人	$W \times 365 \times \frac{30}{100}$	W×153日分	W×153日分	W×153日分	W×153日分
		55歳以上又は障害の状態にある妻	$W \times 365 \times \frac{30}{100}$	175	175	175	175
		2人	$W \times \frac{35}{100}$	201	201	201	201
		3人	$W \times \frac{40}{100}$	223	223	223	223
		4人以上	$W \times \frac{45}{100}$	245	245	245	245
		5人以上	$W \times \frac{50}{100}$	〃	〃	〃	〃
	一時金	A	$W \times 400 \times \frac{250}{100}$	W×1,000日分	W×1,000日分	W×1,000日分	W×1,000日分
		B	$W \times \frac{175}{100}$	〃 700	〃 700	〃 700	〃 700
		C	$W \times \frac{100}{100}$	〃 400	〃 400	〃 400	〃 400
	福祉	支給金	年金受給者	300万円	300万円	300万円	300万円
一時金受給者		A	300	300	300	300	
		B	210	210	210	210	
	C	120	120	120	120		
事業	援助金	年金受給者	(公務災害) (通勤災害) 1,520万円 910万円	(公務災害) (通勤災害) 1,860万円 1,200万円	(公務災害) (通勤災害) 1,860万円 1,130万円	(公務災害) (通勤災害) 1,860万円 1,055万円	
		一時金受給者	A	1,520 910	1,860 1,200	1,860 1,130	1,860 1,055
			B	1,064 637	1,302 840	1,302 790	1,302 740
	C		608 364	744 480	744 450	744 420	
	業	給付金		$N = \frac{20}{100}$ (上限額) $150万円 \times \frac{日数}{365}$ (56.11.1より特殊公務災害加算)	$N = \frac{20}{100}$ (上限額) $150万円 \times \frac{日数}{365}$ (特殊公務災害加算)	$N = \frac{20}{100}$ (上限額) $150万円 \times \frac{日数}{365}$ (特殊公務災害加算)	$N = \frac{20}{100}$ (上限額) $150万円 \times \frac{日数}{365}$ (特殊公務災害加算)

- (注) 1 A=配偶者、子、父母、孫、祖父母及び兄弟姉妹を示します。
 2 B=A以外で生計維持関係にある18歳未満若しくは55歳以上又は障害の状態にある3親等内の親族を示します。
 3 C=A, B以外の生計維持関係のあるものを示します。
 4 補償(年金・一時金)は昭和47.1.1より特殊公務災害加算措置が、また平成6.4.1より国際緊急援助活動特例災害加算措置が講じられる場合があります。

(4) 葬祭補償

適用年月日	昭和 42. 12. 1	平成 8. 4. 1～	平成 10. 4. 1～	平成 12. 4. 1～
葬祭補償	W×60日分	295,000円+W×30日分 又はW×60日分	305,000円+W×30日分 又はW×60日分	315,000円+W×30日分 又はW×60日分

(注) 「又は」とは、それぞれ算定した結果のいずれか高額の方を補償することを示します。

(5) 奨学援助金及び就労保育援助金（在学者等又は保育児1人の月額）

適用年月日	S42.12.1	H10.4.1～	H12.4.1～	H1.4.1～	H16.4.1～	H18.4.1～	H25.4.1～	H27.4.1～	H28.4.1～	29.4.1～
小学校	1,000	10,000	11,000	12,000	12,000	12,000	12,000	13,000	13,000	14,000
中学校	1,500	14,000	15,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	17,000	18,000
高校	2,500	16,000	17,000	18,000	18,000	18,000	16,000	16,000	16,000	16,000
大学	5,000	34,000	35,000	36,000	38,000	39,000	39,000	39,000	39,000	39,000
(上限額)	(2,800)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)
(その他)										
就労保育援助金 (上限額)		10,000 (16,000)	11,000 (16,000)	12,000 (16,000)						

(注)「上限額」は、当該年金たる補償に係る平均給与額の上限額を示します。

(6) 介護補償（月額）

適用年月日	H8.4.1～	H16.4.1～	H18.4.1～	H20.4.1～	H22.4.1～	H23.4.1～	H24.4.1～	H27.4.1～	H28.4.1～	H29.4.1～
介護 常時介護	①105,080 ② 57,050	①104,970 ② 56,950	①104,590 ② 56,710	①104,960 ② 56,930	①104,730 ② 56,790	①104,530 ② 56,720	①104,290 ② 56,600	①104,570 ② 56,790	①104,950 ② 57,030	①105,130 ② 57,110
介護 随時介護	① 52,540 ② 28,530	① 52,490 ② 28,480	① 52,300 ② 28,360	① 52,480 ② 28,470	① 52,370 ② 28,400	① 52,270 ② 28,360	① 52,150 ② 28,300	① 52,290 ② 28,400	① 52,480 ② 28,520	① 52,570 ② 28,560

(注) ①は、介護費用を支出した場合の上限額

②は、親族等による介護の場合